

ご支援のお願い

(社)エヘガザルは乗馬体験を通し、子どもたちが生き生きと過ごすことを柱として、様々な施設などの訪問も行っています。このような活動に賛同してくださる皆さまのご協力をお待ちしております。

■賛助会員

趣旨に賛同し、支えていただくための会員です。

賛助会費 3,000 円／1 年

■特別寄付

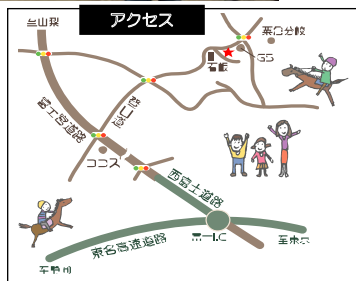
牧場運営には馬、馬具、馬房をはじめとした設備費、人件費など多額の資金が必要です。牧場維持のための資金の援助として寄付をお願いします。

■会費と寄付の振込先

郵便口座 00870-8-204945
(社)エヘガザル



▼6/3市制70周年記念事業で、浅間大社にて引き馬。伊豆から出たミミが活躍！おうちの宣伝にみなさん、お楽しみください。



自動車の場合 東名高速道路を使う方
富士IC→西富士道路→しばらく進んだ後、
右折して富士山スカイライン(登山道)へ進む。
→山宮の信号を約2、5キロ直進。
看板あり富士インターより約30分
★電車、バスなど公共の交通機関はありません。



富士宮市山宮 3645-100
☎090-4409-0401

お知らせ

■第1回ふじさん馬まつり 7月29日(日)10:00~15:00

富士宮市北部にある「STホーストレーニング」「ホース イン フジ」「エヘガザル」の3団体で「ふじのくに乗馬振興会」を設立しての取り組みです。こどもの乗馬デモンストレーション、ウエスタンスタイルのデモンストレーション、引き馬や馬に乗ってやるゲーム(有料)、サッカーのリフティングショーや太鼓の演奏などもあります。食べ物のお店も出ますので、午前中からたっぷりとお楽しみください。入場無料。(雨天の場合8/5に延期)

■ポニーといっしょに夏休みファームスティとキャンプ

ファームスティ

- 【日 程】7月24、25、30日、8月6~8日、12~14日、18~20日、22日、24日
9:00~16:00 (保護者が牧場へ送迎)
【持ち物】お弁当、水筒、おやつ、自転車用ヘルメット
馬に乗るので長ズボンでください。
【対 象】学校でチラシを1年生から4年生まで配布しましたが、参加は1年生から中学生まで大丈夫です。
【料 金】1日3,000円(送迎希望は500円追加)



ポニーキャンプ



- 【日 程】8月16・17日(1泊2日)16日10:00 牧場集合
【宿泊所】スポーツビレッジ 村山ジャンボ(牧場から10分)
【料 金】19,000円(1泊4食、騎乗4回)
【定 員】15名 (早めに申し込んでください)
ポニーにたくさん乗って、ポニーと仲よくなるキャンプです。夕食は食べきれないほどのバーベキューです。いいお風呂もあります。

夏のスケジュール

7月	2日、9日 22日、29日	勤労青少年ホーム乗馬講座
	7日(土)	ホープ1歳の誕生日
	8日(日)	ぱからん
	14、15日 29日(日)	八ヶ岳ホースショー 馬まつり (予備日8/5)
8月	1~2日	野あそび会キャンプA
	14日(月)	勤労青少年ホーム乗馬講座
	10~11日 16~17日	野あそび会キャンプB 外部キャンプ(上記「お知らせ」参照)
9月	9日(日)	ぱからん
	13日(木)	栗倉分校乗馬教室
	16日(日)	外乗★

★ 外乗は、YMCAの富士山エコヴィレッジで行う予定です。
馬に乗れる方が対象となります。定員6名。9月1日から申込みを
受け付けます。牧場まで連絡してください。



2012.7

“馬にふれて、人に還る”

発行元：一般社団法人エヘガザル富士山牧場
エヘガザル モンゴル語 「始まりの場所」
サリフ モンゴル語で「風」を表すことば。

Vol. 25

— おめでとうホープ! 7月7日はホープの満1歳の誕生日 —

昨年の7月7日朝早くホープが生まれました。お母さんのミナミは何一つあわてることなく落ち着いて出産し、スタッフがかけつけた時はホープをゆっくりなめてきれいにしていました。ホープは誰がさわってもいやがることなく、というのもミナミが人を信頼していてホープにふれるのを嫌がらずに見ていたからです。人への信頼という一番の基本は問題なくクリアしました。昨年12月の親離れには、グリーンバレーの梅木さんにきていただき、そこからホルターブレイキングをはじめました。ミナミとの別れも一晩なき交わただけでした。その後ずくずくと育ち、アパ、ラッキー、クリスより体高が大きくなり、今ではチャンプより大きくなりました。これからのホープに大いに期待しましょう!

— 2012年度のスタートは —

4月から始まった野あそび会は、メンバーも増えにぎやかになり、楽しく活動しています。ファームスティはとても好評でした。夏休みもファームスティを実施するので乗馬体験、牧場体験の場として多に利用してください。夏のキャンプも昨年の評判も良く、今年も実施します。1泊で昼間はポニーとずっと一緒なので、手綱をとって乗れるようにもなります。

今年の学校訪問は、市制70周年を迎え、市の予算の中で5校訪問することとなり、すでに3校終了しました。訪問先では、子どもたちが楽しみに待っていて、ポニーに乗ることはもちろん、馬のクイズも楽しんでくれました。大中里保育園は、保育に馬介在保育として年間2回づつの訪問が4年目になりました。子どもたちの落ち着き具合や、マナーがずいぶん良くなり、ポニーにもやさしくふれて、友達にまた会えた喜びが感じられいい会になりました。(まさこ)

■赤い羽根共同募金助成金による障がい児乗馬会 6/10

今年は、赤い羽根共同募金の助成金を受けて、6月10日に障がい児乗馬会を開催しました。午前、午後と2回行い、合わせて37名の参加がありました。

はじめての子どもたちが多かったのですが、大泣きする子もほとんどなく、全員ポニーに乗ることができました。



前半に引き馬で乗り、できそうな子には馬上で身体を動かして馬上体操をしました。後半は、馬に乗っているゲームに挑戦しました。騎座がまだうまくとれないという子も何人かいました。はじめはポニーにかぶさるように身体を曲げていましたが、1周まわると姿勢がよくなり、ゲームの時は自分で玉を持って、片手を放したまま、お父さんかお母さんの持つかごに玉をしっかりと入れることができました。近くで見ていた一同は感激しきりででした。子どもたちの持つ力を馬がひきだしている、と感じました。

遠方から来た保護者の方が、「もう少し近いといいけど、でも2時間半でこれたのでまた来ます」といっていました。

当日、教育長さんと副市長さんがおみえになり、子どもたちの乗馬の様子をよく見てくださいました。

■松村代表、常葉大学や愛育心理研究会などで「馬と子ども」というテーマで発表



常葉大学の島崎真一教授の「特別活動論」の授業の一環として、昨年は学生たちがエヘガザルで一日牧場体験をしました。今年は『動物と接することと子どもの成長』と題して、常葉大で松村雅子が講演をしました。(5/30)

また、6/23には、東京で行われた愛育心理研究会で『馬にふれて人に還る』と題して、ホースセラピーについて話しました。

発達障がいをはじめ、さまざまな障がいに馬が有効と思われる事例などを紹介しながら聞いていただきました。



■カタローヤ 6/15



今年度1回目のカタローヤ。カタローヤは野あそび会に参加している親子が交流する場です。

まず、バーベキューでたっぷり？お肉や焼きそばを食べてもらい、おなががいっぱいになったところで、野あそび会での子どもの様子をスクリーンに映し出してみてもらいました。次に、各家族ごとの自己紹介、それから“〇×うまクイズ”を楽しみました。最後に残った人（大人も参加しましたが、最後まで残ったのは小学2年生の男の子でした！）とその前まで残った人3人には素敵なプレゼントがありました。



■「わくわくポニー教室」で学校訪問



今年度は市の教育委員会で市制70周年を記念して、特別支援学級のある小学校への「わくわくポニー教室」に予算がつき5校に訪問する予定です。

5/28に北山小(1~3年対象)→写真
6/4に大宮小(1年生と支援学級対象)
6/11に貴船小(1年、支援学級対象)

の3校がすでに終了しました。

子どもたちは、ポニーが学校に来るのを本当に楽しみにしていて、ふれたり、乗ったり、馬のクイズの時もこたえをよく考えています。質問もなかなか難しい時もあります。「どうして小さいのに年をとっているの?」(これは簡単に答えられますね)とか、「馬がもし、お肉を食べたらどうなるの?」とか「馬は夜、星が見えますか?」など難問の飛び出すこともあります。

